

# 上北沢桜並木会

通信  
第28号

平成 24 年 12 月 25 日 発行  
上北沢桜並木会議  
連絡先 代表 石井 昭  
上北沢 3-23-10 TEL3303-1524  
HP <http://www.sakuranamiki.org/>  
お問い合わせ : [info@sakuranamiki.org](mailto:info@sakuranamiki.org)

## 松沢病院東側と北側の道路添沿いの樹木が伐採されました

今回の東京都による伐採は、6月の台風4号により1本の樹木（サワラ）が根こそぎ倒されたことが引き金となり、急遽実施されました。

今回伐採対象となった39本の多くは樹齢40年以上で高さも20mの大木でしたが、いずれも台風にも耐え、何ら問題は起こりませんでした。

なお、倒木の直接の原因は、今年の歩道の拡幅工事に伴うサワラの木の歩道側の根切りでした。倒れた方向が根切りした歩道側でなく反対の病院側であったことが証です。

伐採された樹木の断面を見ると、幹が空洞化していたものもありましたが、空洞化により折れる事あれ根こそぎ倒れることはありません。むしろ『これが倒木するの?』と思われる木が多くありました。夏の西日から暑さを守ってくれ、通行人を癒してくれました。

世田谷区では『世田谷みどり33』計画が進行しています。これは区制100周年（2032年）にみどり率33%（平成23年度末現在24.6%）の達成を目指すものです。

過去の松沢病院内のみどり率は非常に高いものでしたが、改築によって大きく減少しています。今回の伐採でさらに減少していくこととなります。

東京都で示した松沢病院の植栽計画によると、改築のため少なくなった樹木は、本数を減らさずに植栽することになっていますが、大きく育つまでには数十年の歳月がかかると考えられます。



伐採した樹木の位置



伐採後に集積した木々



非常に良い状態の木なのに植樹の縁で根切りした木



歩道拡幅により根切りしたために伐採した木々



せっかく植樹を作ったのに伐採した木



非常に良い状態の木



若い木



# 上北沢区民センター文化祭が開催されました…11月3日(土)・4日(日)

上北沢桜並木会議では、「江戸後期から明治の旧上北沢村を見る」と題して、当時の鈴木左内邸などを中心に村の様子を再現して展示しました。

(作成：野口欣一)



## 旧 上北沢村中心付近の想定図

- ① 鈴木左内邸 (現 区立緑丘中学校、早苗保育園 他)
- ② 榎本平蔵邸



### ① 鈴木左内邸 (現 区立緑丘中学校、早苗保育園 他)

記録によると、左内邸の母屋は、長屋門北側に式台付き玄関があり、左側に仏間、右へ延びる当主居室、その北側に並行して先代居室、建物中央に茶の間、その北側には、広間、土間などが続いていたと云う。更に裏庭には、土蔵、鶏小屋、その脇に、今も緑丘中学校庭の中央にそびえるケヤキ(a)が立って居り、その奥は、竹林と杉林に覆われていた。

また、庭園の池の横の築山に植わっていた松(b)は、今、グラウンド南側フェンスの内側に残る。

慶安年代(1650 頃)江戸城改修の際に、お堀の土手に植えられた黒松の兄弟とされる六本の松(c)は、現在、早苗保育園の垣際に大きく枝を伸ばしている。  
[世田谷区誌研究会編「せたかみ」第五十二号]より



(a) 左内邸のケヤキ



(b) 築山の松



(c) 江戸城の兄弟松

### ② 榎本平蔵邸

榎本家は鈴木左内家と力を合わせて領主などとの折衝や神社仏閣の保護等、村の発展に努めてこられたが、その中で榎本平蔵家は早くから、北沢用水を使って水車業を稼業とし、その様子は「遊歴雑記」の「左内家の牡丹」の文中に述べられ、また紀行文「北澤詣で」の挿絵にも「藤棚」と共に描かれている。

また、幕末期の当主平蔵(重能?)は[穀物粉類販売方法]の訴訟問題の解決に、近在村落の水車稼業六十一名の総代として大いに尽力したことが記録に残されている。

### ③ 鈴木左内家 長屋門



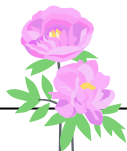
### ③ 鈴木左内家 長屋門

長屋門は、江戸時代の武家屋敷の表門の形式の一つで、その大きさや形、身分や石高によって厳しく決められていた。

一方これとは別に、身分は武士ではないが、村役人や豪農の家に構えられた長屋門があり、世田谷区ではこの形のものが全部で五棟あったことがわかっている。そのうち現存するのが、上町ゴロ市通りにある大場家の門と、次太夫堀公園に移築されている門の二棟、既にこぼされてしまったものが左内家を含めて三棟ある。鈴木左内家の長屋門は戦時中米軍の空襲には焼け残ったが、昭和23年緑丘中学校建設時に解体されてしまった。

門の形を残すものとしては、昭和初期に作られた絵葉書の写真一枚だけになっているが、ここに示したのは、その写真を元に彩色したもの。

## ④牡丹園「凝香園」



### ④ 牡丹園「凝香園」

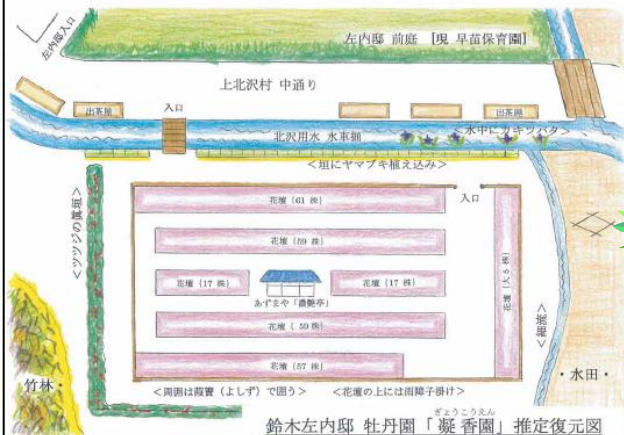
ぎょうこうえん

鈴木左内仲賢が、文化・文政期(1804~1829)に自宅に開設した牡丹園。珍しいものを含めてたくさんの種類を集め、手入れ良く育てていたため、江戸市中の文人や画家の間で評判になり、見物客を多く集めた。

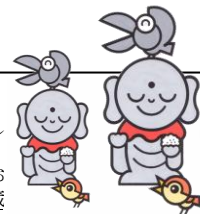
この頃、上北沢では牡丹だけでなく、密蔵院のしだれ桜、榎本平蔵家の藤、また、榎本喜太郎家の霧島ツツジなどで“花の村”の評判が高まり、密蔵院へのお参りと合わせて“北沢詣で”は江戸の流行になっていたようだ。

この賑わいは幕末まで続き、明治に入ってからも多く著名人が牡丹園を訪れたとされている。

下の図は、文化~天保年間(1804~43)に刊行された行楽案内書“江戸近郊みちしるべ”から書き写して復元した「凝香園」の見取り図。



## ⑤幽谿山観音寺密蔵院



### ⑤ 幽谿山観音寺密蔵院

このお寺は、榎本氏の故地の下野国都賀から来た頼慶和尚を住職として、慶長三年(1598)に創建された、鈴木左内家、榎本家などの菩提寺。本尊の不動尊や、観音堂の百体観音は、正月、彼岸、盆などにだけお参りできるが、普段は、参道わきの古い地蔵尊、墓地入口に並ぶ六地藏や、六観音と勢至菩薩の七体の石像などをゆっくりと拝むことができる。

六地藏は、六道輪廻の信仰による普通の六地藏とは意味が違い、その形を借りて鈴木家や縁のあった六人の人の菩提を弔うために作られたもので、六地藏としては区内最古の石像。寛文十年(1670)作。

又、六観音は左から、千手・聖・馬頭・十一面・如意輪・准胝の観音で右端に勢至菩薩が並び、いずれも子孫の無事繁栄を願っている。世田谷区内では六観音の作例はこれだけ。享保三年(1718)作。



## ⑦左内弁天社



### ⑦ 左内弁天社

「新編武蔵国風土記稿」によると、この社は宝暦年代(1750)頃に本郷六郎左衛門が勧請して作られたものが起源と考えられる。

又、ここにある「遊歴雑記(左内家の牡丹)には現在の弁天社付近に「益田の池弁財天」があったことが記されている。

それ以後の資料としては、昭和33年世田谷区刊行の「世田谷区史料 第一集」に、弁天の森を北側から撮影した写真が掲載されている。その画面の左側には弁天橋の欄干が、右には水路らしきものが見られるが、社の存在は確認できない。ただ この写真の説明が「上北沢弁天社」となっているので、写真撮影時に社はあったものと考えられる。

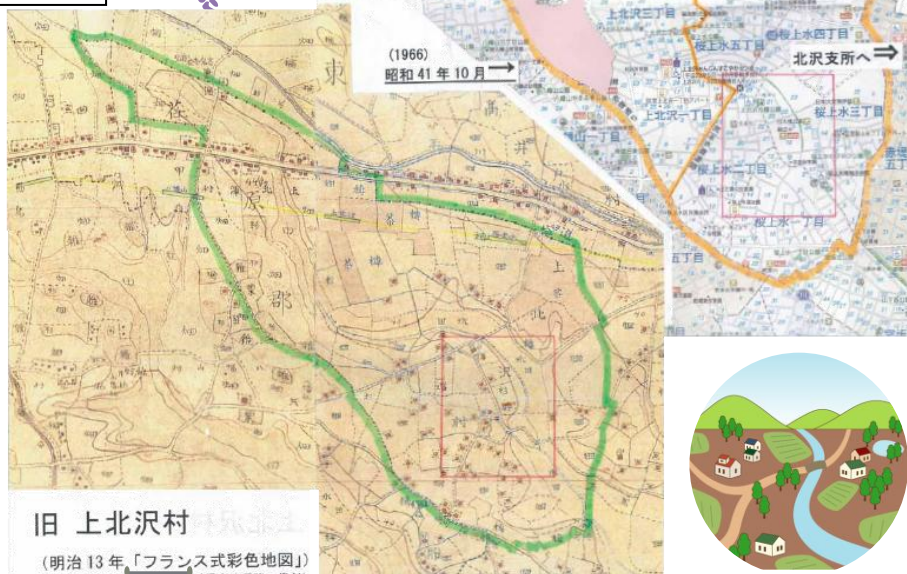
現在の「左内弁天社」は、昭和54年に地元有志と鈴木家により復元されたものだが、この時点で旧社殿はすでに失われていた。



上北沢弁天社  
(「世田谷区史料 第一集」昭和33年刊より)



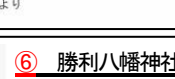
現在の左内弁天社



旧 上北沢村  
(明治13年「フランス式彩色地図」)  
(国土地理院 複製)



## ⑥ 勝利八幡神社



### ⑥ 勝利八幡神社

この神社は旧上北沢村の村社。創建は平安時代半ばの万寿三年(1026)と伝えられる。この前年の万寿二年、清少納言が、翌年の万寿四年に太政大臣藤原道長が、祭式部もこの前後に没したという古い時代のこと。

【世田谷区指定有形文化財】「八幡神社 旧本殿」<区内最古の神祇建築>

唐破風の拝殿屋根、柱上部の飾り彫刻、正面の七段の階段、左右の高欄付き切目縁、などの細工や、墓殿など各種の木組み、それに、白い胡粉の上に施した彩色、その他すべてにわたって、小さいながら室町期の香りを残した本格的社殿建築として高く評価されている。

この本殿は天明八年(1788)に作られて以来、昭和四十三年(1968)の改築まで左上の写真のように、築山の上の覆屋の中に祀られていた。



旧本殿(覆屋)

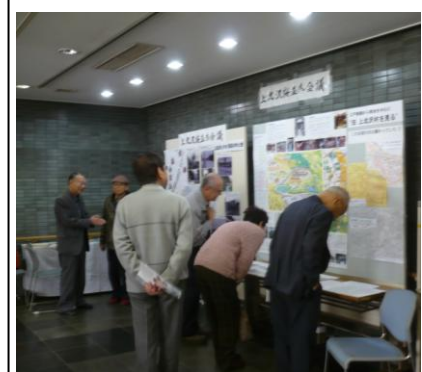


旧本殿



大瓶東 柱頭の木鼻と斗拱 側面高欄と縁 唐破風彫刻 正面

この記事の無断転載は  
ご遠慮ください。



文化祭の展示状況

## 八幡山はらっぱ広場の接ぎ木(上北沢桜並木会議)の移植先が決まりました

八幡山はらっぱ広場の接ぎ木が、上北沢小学校へ移植される予定です。



八幡山はらっぱ広場の標識



平成24年12月16日の状況



## 平成24年度 会費の状況…今年度も会費・ご寄付をありがとうございました

12月12日現在、個人:118人、法人:6社、計:124人・社の方から合計237,000円をいただいています。ありがとうございました。

【平成24年度 会費納入者】

〔順不同・敬称略〕

**個人** 青木昭一 青木俊江 青木正史 青木昭明 荒井都志子 飯田晴美 五十嵐耕平 生田修治 池谷和子 石井昭 石井誠治 出田義明 伊藤佳代 伊藤嗣郎 伊藤万喜子 犬伏瑠璃子 井上雅人 井上慶子 内田正子 海老沢仁子 大澤義正 大島万里子 大橋真理 岡田慎太郎 奥住弘子 乙竹和子 勝村静子 金子紀子 上村米 河原塚晴江 川村澄子 木内二郎 北澤貞子 君島敦子 銀杏陽子 栗原益美 小池初子 古上和子 小作英男 小松利一 小松利夫 小松由美子 近藤恭子 齋田泰彦 齋藤靖彦 齋藤富士子 佐藤千枝子 佐藤三鈴 柴田好恵 下田道子 井伊和子〔新樹苑所長〕 杉浦弘和 杉浦昌子 杉江靖子 杉山正範 鈴木美千枝 高木加津子 高木健一 高田薫 高田江里 滝沢稔 田中優子 田中由紀子 谷平達昭 玉川博記 田村明義 辻和男 土川丈夫 土屋徳之助 寺倉恭尚 富田哲夫 内藤雄一 永井美知子 永井令子 長尾利雄 長峰博明 長峰久美子 中村伊都子 中村正明 中村洋一 難波誠一 新田ノブ子 野口欣一 野口妙子 野本秀旺 萩原礼人 橋本喜寿 林昌二郎 原哲也 原由子 東哲也 広澤克実 福永順彦 福永成子 福山浄加 藤井邦宏 藤田則大 藤本彩子 星野慎一郎 星野真理 堀江ミユキ 堀川主計 前田邦子 松井伸崇 皆川賢一 宗岡朋子 村上勸 元木秀夫 森田英介 森田実 八木崇 安武緑 山口雪子 山崎曜 山崎耕宇 山室和夫 若竹順 和田和典

**法人** (株)アリーナ おがわ整骨院 桂眼科クリニック 上北沢動物病院 (株)川越屋〔浅倉哲三〕 (株)幸作

## 桜並木花芽観察会を開催します…来年3月3日(日)



日時：平成25年3月3日(日) 10時～12時

集合場所：桜並木昭和信用金庫前

桜並木の樹木観察会は1年に1回行うことになりました。

今年1月の花芽観察会から約1年経過後の観察を行いますので、お集まり下さい。申し込みは不要です。当日集合場所へ10時にお集まり下さい。

### 上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にする心を種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org

連絡先：石井 昭 TEL:3303-1524

●桜並木会議が行う月例会(第3火曜日18:00～)、事務局会議(第2木曜日9:00～)や行事等に、是非ご参加下さい。会議の場所は上北沢区民センターです。

●桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。



Merry Christmas!